

農林統計速報

37年岡山の秋びな発生 18.9%増し

農林省岡山統計調査事務所は37年秋びな（7～12月）の人工ふ化の状況を、3月16日速報により公表したが、その概要はつぎのとおりである。

1、月別発生羽数

総発生羽数は528万1,000羽（第1表）で、前年同期に比較すると18.9%増しであった。これは36年度同期実績の27.0%増しに比べやや下回っている。

発生月別にみると10月の100万3,500羽を最高に9月、12月、8月、11月、7月の順となっており、ふ化率は前年同期の63.2%に対し64.4%とやや高くなっている。

2、品種別発生羽数（第2表）

白色レグホーンが1位で全体の35.4%、2位コーニッシュ系20.2%、3位ロックホーン16.4%等の順で、白レグの割合が年々漸減し、その半面コーニッシュ系の肉用種（ブロイラー用）が漸増の傾向にある。

3、出荷羽数

鑑別めすの出荷羽数は約202万羽で、発生羽数のほとんどが出荷され、その内県内出荷は52万羽26%で、残りの150万羽74%が県外に出荷され、ひな生産県としての面目を發揮している。

また出荷先も全国各県に及んでいるが特に広島159千羽、兵庫156千羽、大阪138千羽、埼玉119千羽が目だっている。

鑑別おすの出荷は114万羽で、発生羽数の54%、無鑑別出荷羽数は110万羽で98%の高い出荷率を示している。これは肉鶏用の需要増に伴うものである。

第1表 月別発生状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
総発生羽数	7,302	8,606	9,944	10,035	7,835	9,088	52,810	
発生内訳 羽数	鑑別し めす	2,628	3,368	4,148	3,960	2,935	3,474	20,513
	鑑別し おす	2,698	3,458	4,283	4,088	2,982	3,544	21,053
	計	5,326	6,826	8,431	8,048	5,917	7,018	21,566
	鑑別しないもの	1,976	1,780	1,513	1,987	1,918	2,070	11,244
月別発生割合	13.8	16.3	18.8	19.0	14.9	17.2	100.0	
前年対比（発生羽数）	125.6	104.8	123.3	138.4	123.9	104.0	118.9	

第2表

（単位 100羽）

	総数	白色レグホーン	コーニッシュ系	ロックホーン	ハンブホーン	ニニハンブシャー
羽数	52,810	18,679	10,690	8,659	4,110	1,505
割合(%)	100.0	35.4	20.2	16.4	7.9	2.8
	ロードホーン	横はんブリマスロック	ロードアイランドレッド	ゴールデンネック	その他	
羽数	1,134	657	347	219	6,810	
割合(%)	2.1	1.2	0.7	0.4	12.9	

第3表

（単位 100羽）

	鑑別めす	鑑別おす	鑑別しないもの
発生羽数	20,513	21,053	11,244
総出荷羽数	20,172	11,421	11,004
県内出荷羽数	5,195	1,870	2,221
県外出荷羽数	14,846	9,550	8,783
国外出荷羽数	131	1	—
出荷率	98.3%	54.2%	97.9%